

## 『歯科技工士の未来』

バブル崩壊後に 3K (きつい・汚い・危険) なる言葉が巷にあふれ、現代では 新3K (きつい・帰れない・給料が安い) となり IT 業界を中心に流行り言葉となっておりますが、その 3K という言葉は従来の歯科技工士には当て嵌まっており、新 3K も未だ該当する歯科技工所はあろうかと思えます。しかし昨今、国を挙げての働き方改革に於いては、当然歯科技工業界も例外ではなく、こと組織ラボに於いては日々改革に勤しむ状況にあるでしょう。

従来の鑄造等を中心とした歯科技工からデジタルの時代に移行している最中、その様な日進月歩な今だからこそアイデア次第では市場を作り上げることさえも可能である千載一遇のチャンスとみます。職人氣質でハンドメイドの極意を前面に打ち出した場合の市場、デジタルの波に乗って対応して行く市場。どちらのステージにおいても、アイデアを持って新たな一步を踏み出した場合には勝利することが可能であると確信します。

2019 年、歯科技工士にはどのような思想が必要なのか、どうすれば生き残り、幸福を得られるのか、今回は皆さんと具体的に考えることができる場になれば嬉しいです。

逆 3K 『きれい・帰れる・輝く・給料上々』の職を目指し……。